

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		住宅リフォーム助成事業			事業区分			担当		
					新規/継続	新規	事務事業No.	040201001011		
					単独/補助	補助		050301		
政策体系		政策体系上の位置付け			所属課			商工観光課		
総合計画の施策名		0402 商工業の振興			主要事業					
政策名		04 活力ある産業のまちづくり			市長マニフェスト					
施策名		02 商工業の振興			未来PJ事業			グループ 商工観光グループ		
手段名		01 ①商工業の振興			合併建設計画事業					
		財務会計上の位置付け			事業期間					
予算科目		一般会計			期間限定複数年 (平成30年度～令和2年度)					
01	07	01	02	01	00	商工振興事業			☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		住宅リフォーム助成事業補助金交付要項								
[Do]		1. 事務事業の現状把握(その1)								

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	市内の消費の促進及び商工業等の振興を図るため、市内の施工業者によって住宅のリフォーム工事を行う市民に対し、予算の範囲内において桜川市住宅リフォーム助成事業補助金を交付する。	・告知、広報 ・申請受付 ・審査及び交付、不交付の決定(通知) ・実績報告の受付、審査(必要に応じて現地調査)、補助金額の確定(通知) ・補助金の支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移


①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
広報事務、申請受付事務、審査事務	受付件数	件	0.00	44.00	40.00	40.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
市内施工業者	受注業者数	者	0.00	29.00	30.00	30.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
消費の促進及び商工業等の振興を図る	経済効果	千円	0.00	75,000.00	75,000.00	75,000.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業	内訳	29年度(実績)			30年度(実績)	01年度(計画)	期間限定総投入量
			千円	千円	千円	千円	千円	
入量	事業費	国庫支出金	千円	0	1,758	1,350		0
		県支出金	千円	0	0	0		0
		地方債	千円	0	0	0		0
		使用料・手数料	千円	0	0	0		0
		その他	千円	0	0	0		0
		一般財源	千円	0	2,149	2,650		10,907
		事業費計(A)	千円	0	3,907	4,000		10,907
			0.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	30年度事業費実績(千円)			01年度事業費予算(千円)		
	金額	千円	人	金額	千円	人
19 負担金補助及び交付金	3,907			4,000		
合計	3,907			4,000		

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
	<p>・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業</p> 		

事務事業名	住宅リフォーム助成事業	事務事業No.	40201001011	所属課	商工観光課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
市内事業者の育成や商工業の振興を図るため、平成30年度から事業を開始した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
予算を超える申請があり、予算を増やしてほしいという声が寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	総合計画の基本計画に位置付けられており(4-2 商工業の振興)、政策体系に結びついている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市内事業所の健全育成、商工業の振興を目的とした事業であり、公共関与は妥当である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	成果を向上させるためには、予算の増額が必要であり、現時点では成果の向上の余地はない
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	本事業が廃止されると、リフォーム発注数が減少することが予想され、影響がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業が無いため、統廃合・連携の余地はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は予算の範囲内であり、人件費は最小限となっているため、削減余地はない
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	申請要件を満たせば何人でも申請できる事業であり、公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	開始年度であったが、予想を上回る申請があり、大きな成果を得ることができた

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持																								
	低下																								

(6) 事務事業優先度評価結果	⑥
成果優先度評価結果	
コスト削減優先度評価結果	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>